



# 立憲民主党

The Constitutional Democratic Party of Japan

## 上田 世田谷区政策委員

# ひでまる

### 30歳

## 元高校教師の新たな挑戦!

### 風間ゆたか都議とともに「子ども最優先」をつらぬく。

私が信頼する“まる”とタッグを組んで、世田谷の子育て・教育を、もっと充実させていきます!



立憲民主党は、2023年4月の世田谷区議会議員選挙における上田ひでまるの公認を決定しました。

### 上田秀麿 (うへだひでまる) プロフィール

1992年4月生まれ、学芸大附属小金井小・中、法政高(旧法政一高)、早稲田大学教育学部を卒業し、一橋大学大学院を修了  
社会科の非常勤講師として専修大学附属高校に勤務したのち  
東京都議会議員風間ゆたか秘書、参議院議員塩村あやか公設秘書へ  
趣味はサッカー観戦・スノーボード・将棋、好きな食べ物は麻婆豆腐

実家では、愛猫チキンと一緒に暮らしていました。



愛猫  
チキン



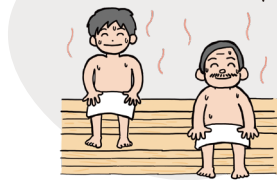
▲チキンと一緒に将棋を  
▲黒板の前に立つと  
気が引き締まります



学生の進学相談にのったり、議論したりするひときが好きです。



幼いころ、両親にはキャンプによく連れて行ってもらいました。  
最近、父と一緒にサウナで一杯やったりも。



まるメモ

### まるの原点

# もっとと良くしたい 日本の教育を

今はもう閉院してしまった世田谷区桜1丁目の旧東京都立母子保健院にて、長男として生まれました。「ひでまる」という名前は、父の名前から「秀」を受け、日本古来の男子の名である「麿」を組み合わせられてつけられたそうです。父の仕事の都合で、町田市、金沢市、新宿区、調布市を転々としてきました。小学校ではサッカーに、中学校ではハンドボールに打ち込み、あの頃の僕はいわゆるスポーツ少年でした。

高校1年生のとき、リーマンショックの影響で家計が急変し、奨学金という名の借金をしながら高校に通うことになりました。家庭内でのケンカが増え、僕は家から逃げるように生徒会活動にのめり込みました。高校2年生の時には、ニュースにもなった体罰事件が修学旅行先で発生。理不尽な思いを振り払うべく、生徒会副会長としてブラック校則や体罰の廃止に奔走し、「日本の教育をもっと良くしたい」「子どもの声大切にされる社会をつくりたい」と、将来の夢を決めたのがこの頃です。

教育に携わるにはやっぱり教育学部しかない、  
(裏面に続く→)

# 立憲民主党

The Constitutional Democratic Party of Japan

▼風間さんの選挙ではいつも中心メンバーとして支えていました。



早稲田大学教育学部に進学。ボランティアで中高生向けのシ

ティズンシップ教育を実践する「湘南まちいくプロジェクト」に取り組んだり、文部科学省や横浜市教育委員会などでインターンに参加したりするほか、風間ゆたか区議の議員インターンシップを経験しました。まさかこの出会いが、10年後に僕の人生の転機になろうとはこの時はまったく考えてもいませんでしたが。「子どもの声を大切に作る教育」ってそもそも何だろうと、研究をさらに突き詰めるため、一橋大学大学院に進学しました。

大学院修了後、今度は教育の現場で、授業を通じて日本の教育を変えたいと、念願の高校教師となりました。地理・世界史・政治経済を担当し、生徒とのコミュニケーションを重視する授業を実施。あのとき、自分がイヤで仕方がなかったような先生にだけは絶対になるまい、と理想の教師像を追い求めてもがき苦しんだ日々でした。

教師の仕事にやりがいを感じつつも、教育現場の多忙さに自らを見失ったり、子どもの権利保障など学校単位を超えて解決しなければならない障壁に悶々とする日々を過ごしていましたが、風間ゆたか議員が世田谷区議会から東京都議会へ転身し、政治の力で教育改革を進める姿を見て、「これだ！」と確信。後継者として、三軒茶屋・下馬・上馬・駒沢・野沢の地域を中心に、日々、立憲民主党の旗を掲げて走り回る決意を固めました。

弱い立場の人の声を大切に作る政治こそが、私の理想です。子どもは決して弱いだけの存在ではないけれども、その声にじっくりと耳を傾ける社会こそが、私のつくりたい世の中です。これからの上田ひでまろに、どうぞ期待ください。

RIKKEN  
MINSHU  
号外

2022年11月号(世田谷区版)  
プレス立憲民主編集部(東京都連)

〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1-6F  
TEL.03-6261-0435 FAX.03-6261-0436

上田ひでまろ(立憲民主党 世田谷区政策委員)



# まろ

## 世田谷区政で 取り組んでいくこと

### 理不尽な学校での出来事に 憤りを覚えた経験から

- ブラック校則や謎ルールなど、今でも残る古くて非合理的な制度の見直しをさらに推し進め、子どもの権利条約に基づいた学校教育を実現します。
- 児童会や生徒会を活用した、新しい主権者教育(シティズンシップ教育)を提言します。

NPO法人  
カタリバのルール  
メイキングプロジェ  
クトに参加。  
コラム執筆を  
担当しました。

### 教育現場を知っている 教師の経験から

- 豊かな教育現場の実現は、教師の労働環境や待遇の改善から生まれます。世田谷区の教育予算・子どもたちに関わる予算を徹底的に充実させます。
- 2022年4月に区内の小中学校4校で、担任が決まっていない状況がありました。こうした教師不足、担任の先生がいない状況を解消するため、全力で動きます。



### 政治の現場で学んだ議員秘書としての経験から

- 塩村あやか参議院議員とともに、社会保障や女性政策に積極的に取り組み、特に「動物愛護」の分野について、区民の皆さまの声を国政に届けます。
- 東京都議会の最前線にて、高校入試における「英語スピーキングテスト問題」で闘ってきた風間ゆたか都議会議員と引き続きスクラムを組んで、高校入試や内申書などで子どもが不利益を被らないよう、改善に取り組んでいきます。



塩村あやか  
参議院議員

立憲民主党世田谷区政策委員 上田ひでまろ

TEL 080-6883-8736 EMAIL uedahidemaro@gmail.com

